

コード	名 称		区分	コード	名 称	
事業名	526	事務管理経費	会計	01	一般会計	
基本 施策	15	自然災害等への十分な備えをする	款	08	土木費	
			項	03	河川費	
			目	02	直轄管理河川改修対策事業費	
行革大綱の重点事項番号			細目	280	事務管理経費	
担当部課			細々目	01	事務管理経費	
担当部課	コード	190500	担当者 氏名	福田 康彦	連絡先	43 - 2321
	名称	建設1課				(内線) 231

**事務事業の概要 (Plan)**

対象(誰を、何を)	直轄管理河川改修対策事業に関する事務	※対象件数
成果(どうする)	事業の円滑な執行・施設の適正管理が図れる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
関連事業		
H21 事業 内容	直轄管理河川改修対策事業に関する事務 小田排水機場及び裏樋門・朝屋排水ポンプの点検操作委託業務・ポンプ等機器修繕	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			小田排水機場外2件点検回数	回	目標 17 実績 17	目標 17 実績 17

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				施設維持管理日数	住民満足度を指標とすべきであるが、把握が困難なため本指標を採用	日	目標 366 実績 366

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	777	973			1,238	1,240		
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0						
一般財源	777	973			1,238	1,240		
事業投入人件費 (B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600				
フルコスト(A)+(B)	4,377	4,573			4,838	4,840		

**事務事業の評価 (Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <input type="text" value="100%"/> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 <input type="text" value="無"/> 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 <input type="text"/>	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	地区消防段に委託し効率的に行われている。

**昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況**

改善策	排水機場設置より36年経過しており機器の修繕料等の増額により災害時の危機管理体制を向上させる。
昨年度の 取組状況	【状況】 <input type="text" value="計画のとおり進んでいる"/>
	【詳細】 機器の点検の結果、非常用発電機の不具合が発見され、1基の機器の修繕を実施した。

**今後の方向性 (Action)**

担当課長氏名	北山 太加視
事業の方向性	【方向性】 <input type="text" value="現状維持"/>
	【理由】 河川災害の発生を防止するため、引き続き当該施設の維持管理を実施する。
現時点における 課題、その他	排水機場設置より長期間経年したことにより、機器の修繕等の増加が考えられる。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	施設の定期的な点検を実施し、施設の状況把握を行い、非常時に備え危機管理体制を図る。